

8 月度 <sup>例会</sup> <sub>個人</sub> 山行報告書		報告者	渡辺勝利	参加 メンバー	L 渡辺勝利 育子
		報告日	09 / 03		
山 域	北海道 礼文島	山行日	06 年 08 月 14 日(月)		
山 名	礼文岳 (490m)				
山行目的	北海道の未知の山探訪 ( 2 )		コースタイム ( 天候 : 天気図記号 )		

配布先
集会:12
山行: 1 リーダー
原紙: 集 会担当者

ルート図 ( 地図を見て正確に )

2.5 万分の 1 地図 : 礼文岳

快晴
10:05 利尻島鴛泊発 (フェリー)
10:45 礼文島香深着
12:05 内路登山口 ~ 10
13:20 3k 地点 ~ 30
14:00 頂上 ~ 25
15:00 2k 地点 ~ 20
16:00 内路登山口
香深よりフェリーで 稚内へ戻る

山行報告 花の島「礼文島」の礼文岳は利尻島の男性的な利尻山とは対照的なたおやかな山である。昨夜は利尻島の鴛泊で一泊し、今朝のフェリーで礼文島に渡る。もちろん目標は礼文岳であり、予め到着時刻から内路方面への路線バスのダイヤがないのは知っていたので、タクシーを利用するつもりで上陸したものの、タクシーは午後一時過ぎまで戻ってこない。それではレンタカーはと聞いてみるとこれも予約で一杯。最終便で稚内に戻る予定なので内路までの足がないと時間が足りない。後髪を引かれつつも、やむを得ず桃岩展望台へでも行ってみようと思いきや坂道を登り始めたところ、洗車中の暇そうなおじさんに遭遇、藁にでもすがる思いで「内路まで乗せて行ってくれないか」と頼んだ所、心よく応じてくれた。これで目標の礼文岳に登れると思うと急にうれしくなり、北海道の人情に感激したものである。内路のバス停横の駐車場に礼文岳の登山口があり、早速登りにかかる。最初はちょっと急登するがよく整備されたルートである。しばらくすると樹林帯でなだらかとなり、我々二人だけの貸切りの静かな道を進む。途中には登山口からの距離が表示されているので、頂上到着時刻が想定できるのも面白い。低山の割りには結構深い山並みも見渡せるし、利尻登山のクーリングにはち

ようど良いコースでもある。そうこうしている間に岳樺が這い松に変わるとまもなく頂上。快晴で360度の眺望が満喫できるすばらしい解放感を味わった後、同じルートを下山。利尻で親しくなったS夫妻の登ってくるのと鉢合わせ(彼らはタクシーを利用したらしい)。下山後はバス待ち時間を内路の漁港でゆっくり寛ぎ、離島の2座の登山を終了した。

リーダー所見  
花の島と言うものの時季が遅いようで、登山道に花らしきものは殆どなかったが、緑濃い樹林の中の気持ちのよい山旅であった。惜しむらくは登山口までの交通の便の悪いことで、最盛期には予めそのことを想定して計画に組み込むことが必要と思われる。



確認 (リーダー)	
作成 (報告者)	